

美術

I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領（平成29年3月）に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長		
共通 観点	(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。
	(2)	ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長		
共通 観点	(1)	基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。
	(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。
	(3)	主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。
教科 独自 観点	(4)	対象や自己の内面などを見つめて主題を生み出し、発想や構想を基に材料や用具などを活用して創造的に表すことができるよう工夫されているか。
	(5)	見る人や使う人の立場に立って主題を生み出し、発想や構想を基に材料や用具などを活用して創造的に表すことができるよう工夫されているか。
	(6)	美術作品などからよさや美しさなどを感じ取り、見方や感じ方を広げたり深めたりすることができるよう工夫されているか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長		
共通 観点	(1)	文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。
	(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3)	レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

II 選定資料利用上の留意点

- 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

観点		発行者	開隆堂	光 村
1 教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長				
(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。		教科書の使い方を各巻に示すとともに、各題材で、「学習の目標」と対応する活動を掲載し、生徒作品や多彩な鑑賞作品を取り上げることで、主体的に創造活動に取り組めるよう配慮されている。	教科書の活用方法を美術Ⅰに示すとともに、各題材に「目標」を明記し、鑑賞と表現を一体的に学ぶことができるよう題材を配列することで、主体的に創造活動に取り組めるよう配慮されている。
(2)	ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。		美術2・3の巻頭資料「私たちに身近な美術」では、漫画家、荒木飛呂彦展覧会（長崎会場）の作品が紹介され、漫画と美術文化について考えを深めることができるよう配慮されている。	美術Ⅰ「美術の扉を開こう」では長崎での「キッズゲルニカ」の作品の展示、美術2・3「日本の伝統工芸」では長崎県の波佐見焼が紹介され、平和教育や伝統と関連した学習ができるよう配慮されている。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長				
(1)	基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。		各題材に「知識や技能に関する目標」を明記したり、各巻末の「学びの資料」で現技法や用具の使い方、発展的な内容を示したりすることで、多様な題材の知識・技能を習得できるよう工夫されている。	各題材の関連資料のページを明記したり、資料に表現技法や用具の使い方、制作手順、発想や構想の方法について詳しく示したりすることで、題材に応じた知識・技能を習得できるよう工夫されている。
(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。		各題材に「思考力・判断力・表現力に関する目標」を分かりやすい言葉で明記し、多くの作品例と「作者のことば」やアイディアスケッチを示すことで、思考して豊かに表現できるよう工夫されている。	各題材に思考力・判断力・表現力に関する「目標」を分かりやすい言葉で明記し、多くの参考作品と「POINT」による問いかけを示すことで、思考して豊かに表現できるよう工夫されている。
(3)	主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。		生徒が身近に感じられる作品を掲載したり、各題材にイラストによる問いや学習ポイントの提示をしたりすることで、興味・関心を高め主体的に学ぶ意識をもって学習に取り組めるように工夫されている。	生徒の試行錯誤の様子が分かる「みんなの工夫」や生徒作品に「作者の言葉」を添えて掲載することで、興味・関心を高め、自分ならどう制作したいか、主体的に考えられるよう工夫されている。
(4)	対象や自己の内面などを見つめて主題を生み出し、発想や構想を基に材料や用具などを活用して創造的に表すことができるよう工夫されているか。		表現の各題材に「発想・構想」の小見出しを設け、アイディアスケッチや生徒作品例等を示すことで、何を、何のために、どのように表すのか考え、主題を生み出す力が身に付くよう工夫されている。 美術2・3「自分と向き合う」「私がイメージする世界」「イメージを形にして」では、発想や構想の方法、多様な表現方法による作品を示すことで、創造的に表すことができるよう工夫されている。	発想や構想の手がかりとなるよう、多くの生徒作品を掲載するとともに「みんなの工夫」で生徒の試行錯誤の過程を紹介することで、発想や構想を広げる過程をイメージしやすくなるよう工夫されている。 美術2・3「今の自分、これからの自分」では、自分の思いを言葉にして構想する方法を示し、多くの生徒や作家の作品を紹介することで、多様な表現方法で創造的に表すことができるよう工夫されている。
(5)	見る人や使う人の立場に立って主題を生み出し、発想や構想を基に材料や用具などを活用して創造的に表すことができるよう工夫されているか。		掲載作品とあわせて「作者のことば」やアイディアスケッチなどを掲載することで、作品がどのような発想・構想でうまれたのか興味・関心をもって学び、創造的に表すことができるよう工夫されている。 美術Ⅰ「つくることでつながる」美術2・3「つながるデザイン」といったデザインや工芸などの各題材に取り組ませることで、見る人や使う人の立場に立って表現することができるよう工夫されている。	美術Ⅰの「発想のしかたはさまざま」や美術Ⅰ資料の「発想・構想のために」では、多様な発想の仕方を紹介することで、創造的に表すことができるよう工夫されている。 別冊の美術Ⅰ資料では、ユニバーサルデザインに関する解説を設けたり、デザインや工芸などの各題材に取り組ませたりすることで、見る人や使う人の立場に立って表現することができるよう工夫されている。
(6)	美術作品などからよさや美しさなどを感じ取り、見方や感じ方を広げたり深めたりすることができるよう工夫されているか。		全ての題材において発想・構想、知識・技能、鑑賞、それぞれの考え方や鑑賞のポイントを示すことで、造形的な視点を基に見方や感じ方を広げたり深めたりすることができるよう工夫されている。 作品の一部を原寸大の図版により掲載することで、小さな図版では気づきにくい細かな表現を見ることができ、鑑賞の視点が広がったり、自身の表現に生かしたりできるよう工夫されている。	多くの題材において鑑賞活動を設定し、鑑賞への取り組みの言葉や「POINT」として問いを示すことで、造形的な視点を基に見方や感じ方を広げたり深めたりすることができるよう工夫されている。 さまざまな技法や効果を、3年間使える資料としてコンパクトな別冊にまとめ、参照しながら制作させることで、発想力や想像力を刺激することができるよう工夫されている。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長				
(1)	文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。		各題材で導入の文章が3文程度、「作者のことば」は1文程度と短く読みやすくまとめられており「美術の用語」についても説明が添えられていることで、分かりやすい記述となっている。	見出しの文章を2行ほどにまとめたり、色で囲まれた「POINT」の吹き出しを示したりすることで、理解しやすく、分かりやすい記述となっている。
(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。		制作手順等を示す写真は、生徒が理解しやすい視点から撮影し、表紙はエンボス加工を施すなど工夫することで、視覚・触覚による学習への興味・関心が高まるよう配慮されている。	観音開きのページを設けた視覚的に生き生きした紙面構成や、美術2・3の日本の絵画を鑑賞する題材では16ページにわたり和紙のような質感の紙を使用することで、鑑賞活動がより深まるよう配慮されている。
(3)	レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。		作品の美しさや楽しさが伝わるよう大型の図版を多用して構成することで、視点を広げたり、自分の表現の参考にすることができるよう配慮されている。	図版の位置を揃え、角を取り、余白を設け、罫線を引くなど、レイアウトを工夫することで、全ての生徒が確実に理解できるよう配慮されている。

Ⅲ 具体項目

美術

観点		発行者	日 文	
1 教育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長				
(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。		表紙と一体化した巻頭資料による導入や3年間を見通せる教科書の使い方を各巻に示し、発達段階に応じた題材を系統的に設定することで、主体的に創造活動に取り組めるよう配慮されている。	
(2)	ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。		美術2・3下「動きで伝えるメッセージ」では、長崎県大村市移住・定住促進PR動画「私の心を離さない大村市」が、動画表現作品として掲載され、社会や地域との関わりを学習できるよう配慮されている。	
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長				
(1)	基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。		各題材に知識・技能の「学びの目標」を明記したり、巻末の「学びを支える資料」に表現技法や用具の使い方、美術史等を示したりすることで、多様な題材の知識・技能を習得できるよう工夫されている。	
(2)	知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。		各題材に思考力・判断力・表現力に関する「学びの目標」を分かりやすい言葉で明記し、発想・構想の手掛かりとなる「表現のヒント」や参考作品を示すことで、思考して豊かに表現できるよう工夫されている。	
(3)	主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。		各題材の中心的な発問を「鑑賞の入り口」「造形的な視点」として示し、その問いについて考察できるようにすることで、興味・関心を高め、主体的な学びのきっかけとなるよう工夫されている。	
(4)	対象や自己の内面などを見つめて主題を生み出し、発想や構想を基に材料や用具などを活用して創造的に表すことができるよう工夫されているか。		「表現のヒント」で情景写真やワークシート等を掲載したり、発想・構想の手がかりとなるよう作者の言葉を多数掲載したりすることで、自分の発想・構想を広げることができるよう工夫されている。 美術1「自分の表現を目指して」、美術2・3上「イメージを形にすると」、美術2・3下「わたし自身を見つめて」において多様な表現方法を示すことで、創造的な表現の手掛かりとなるよう工夫されている。	
(5)	見る人や使う人の立場に立って主題を生み出し、発想や構想を基に材料や用具などを活用して創造的に表すことができるよう工夫されているか。		美術1の巻末資料では発想や構想の手立てを4ページで設定したり、その中で発想・構想する時のコツを示したりすることで、発想や構想が広がり、創造的に表すことができるよう工夫されている。 美術1「デザインや芸芸との出会い」美術2・3上「使う人の立場で考える」といったデザインや芸芸などの各題材に取り組ませることで、見る人や使う人の立場に立って表現することができるよう工夫されている。	
(6)	美術作品などからよさや美しさなどを感じ取り、見方や感じ方を広げたり深めたりすることができるよう工夫されているか。		全ての題材において中心発問として「鑑賞の入り口」「造形的な視点」を掲載することで、造形的な視点を基に見方や感じ方を広げたり深めたりすることができるよう工夫されている。 浮世絵作品では高精細印刷技法を用い2種類の藍色の違いや細部の彫りを再現することで、技の高度さを実感したり鑑賞の視点を広げることができるよう工夫されている。	
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ（ユニバーサルデザイン）等の観点からの表記・表現や体裁の特長				
(1)	文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。		全ての題材において「鑑賞の入り口」は2行にまとめられ、各巻のオリエンテーションでは発達段階に応じて造形的な見方や考え方が平易な言葉で示されることで、分かりやすい記述となっている。	
(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。		教科書を折って屏風の鑑賞をすることや、見開きページを生かし作品図版の一部を原寸大に拡大することなどで、知識を実感的に理解でき、発想や構想、工夫が読み取りやすいよう配慮されている。	
(3)	レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。		白地を基調とするすっきりとしたレイアウトで、色相環など色の発色が良く、カラーユニバーサルデザインを使用することで、色の表現が豊かで見やすいよう配慮されている。	